

# スタンドアップ SAGA

— 連合佐賀青年委員会 情報誌 —

第 5 号 (2015 年 12 月 1 日)

発行所 連合佐賀 青年委員会 〒840-0804 佐賀市神野東 4-7-3  
TEL 0952-33-3705 FAX 0952-33-2805 URL: <http://www.rengo-saga.jp/>  
発行責任者 御厨 拓海  
編集責任者 古賀 恭輔

## ユース21を開催しました！

例年恒例となっている連合佐賀ユース21を9月26日から27日にかけて武雄市の和多屋別荘にて開催しました。

ユース21は、次代の労働組合を担っていく青年・女性リーダーの育成を目的として例年開催しており、今年度は各産別・構成組織から18名(男性13名、女性5名)の仲間が参加してくれました！

昨年は開催地が鳥栖市であったこともありスポーツ観戦のイベントを取入れ大きな反響を頂きましたが、今年も新たな取組みとして、地元佐賀県出身の音楽家・西村美和さんによる二胡の演奏を取入れました。

あまり普段は耳にすることの無い楽器ではありませんでしたが、西村さんの奏でる優雅な調べに参加者はもちろん、一般の方まで夢中になっていました。

講演の部では富士社会教育センターの木村氏をお招きし、労働組合の成立ちや、コミュニケーション手法についてのお話を賜りました。

講演の中では学習の一環としてアイスブレイクも行われ、それらを通じて参加者皆さんが楽しく積極的に、また明るい雰囲気の中で学習することができました。

夜には懇親会が行われ、スポーツ観戦のウェイトが大きかった昨年と比べて今年は懇親会に力を入れました！

豪華景品を用意したビンゴ大会では喜びと悲しみの入り混じった歓声が飛び交い、宿の中にあるバーを借りての二次会は、凄まじい盛り上がりを見せていました。

今年のユース21は学習と交流に重きを置いたシンプルな活動としたこともあり、オンとオフのメリハリの効いた大変有意義な集会になりました。

参加者の方々にとって、この集会を通じて得た仲間や経験が、職場や構成組織での活動強化のきっかけとなることを願っています。



ユース21参加者

## ユースラリーも開催しました！

こちらも毎年恒例となっておりますが、10月3日からの2日間、唐津市「波戸岬少年自然の家」において、構成組織の若年組合員18名の参加のもと、第4回ユースラリーが開催されました。本活動(交流会)は、連合佐賀に集う組合経験の浅い青年・女性(新入組合員)を対象にし、組合活動へ興味を持ってもらうことを主旨に例年開催しているのでユース21よりも交流に重きを置いています。

今年のユースラリーでは、開会式後、4班に分かれての交流、また班の団結を深めるため「ソフトバレー」を行いました。交流中、ボールの空気が抜けるというトラブルもありながらも、産別の枠を超え、笑いの声の絶えない楽しい交流となりました。



ユースラリー参加者

終了後はバーベキューによる夕食交流会が賑やかに開催され、みなさんの料理の腕前を拝見させていただきました。

夕食片づけ後、ナイトウォークを行いました。ナイトウォークは、あらかじめ設定したコースの5つのポイントで、各班がクイズに答えながら歩くもので、全ての班が真っ暗中のポイントを目指しましたが、1つのポイントをどのチームも見つけれない事態が発生してしまいました。場所が場所（文禄・慶長の役でなくなった武士の人骨が出土）だけに参加者は怖さ反面、楽しさ反面の、勇猛果敢に挑戦してくれました。

ラリー2日目は、グループ討議を行いました。今回は「労働組合の活動って何？」というテーマで、

「会社生活だけでは、経験のできない人づくり、人格形成、教養を身につける最高の場面が組合活動であり、自分自身と仲間の引き出しづくりと眠っている可能性を引き出すもの」との内容で青年委員会担当の鍋田副事務局長より話があり、その後、各班で「年休を取るためには」とのテーマで討議を行い、討議した内容を共有し合いユースラリーを終えました。



夕食交流会



グループ討議

## 平和行動 in 根室に参加しました！

日本労働組合総連合会(連合)は9月12日～9月13日に『2015 平和行動 in 根室』を開催し、全国の連合や産別から大勢の組合員が集結した。連合佐賀からは5名が参加し、青年委員会からは古賀が参加した。

北方領土といえば、北海道の最東端に接する択捉島、国後島、色丹島、歯舞諸島のことを指し、遡ること1855年の日魯通好条約にて北方領土が日本のものと決定した。ところが、第二次世界大戦後の終結後1945年8月28日ソビエト軍が北方四島に上陸し、そこに住んでいた約17,000人の日本人を強制的に追い出したことを発端とし、以降今日まで旧ソビエト、ロシアによる不法占拠が続いており、近年では急激なインフラ整備や経済特区への指定など、開発の意図が明確になっている。

平和行動ではまず、初日の9月12日は北海道立北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)にて北方四島学習会に参加した。まず1部では全体で、1945年の強制排除を題材にした映画を鑑賞し、2部では3名の講師を選択し、それぞれの視点からの北方領土問題を学習した。



連合島根の竹島問題啓発活動



リスのお出迎え



2015 平和ノサップ集会

翌日の9月13日は北海道最東に位置する端納沙布岬に移動し、小雨が降りしきる中2015 平和ノサップ集会が開かれた。集会の中では内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方領土)の山口俊一氏より『北方四島の帰属の問題を解決して日露平和条約を締結するという我が国の一貫した基本方針の下、この問題が一日も早く解決されるよう外交交渉を後押しする国民世論の啓発に全力で取り組んでまいり所存です』という力強い決意が語られた。

他にも特別報告として、竹島問題に揺れる連合島根より現状の報告がなされた。連合島根においては集会前にチラシ配りを行うなど、全国の組合員に啓発を呼び掛けおられた。

そしてノサップ集会は北方四島の返還運動に粘り強く取り組んでいくことを誓い、集会アピールを採択し、会を閉じた。

～編集後記～

連合佐賀青年委員会の組合員の皆様、日頃よりスタンドアップSAGAをご愛読いただきありがとうございます。この1年間『読みやすい』『読みたくなる』内容・構成を模索し頑張ってまいりました。連合佐賀の活動内容が皆様に伝われば幸いです。今後ともスタンドアップSAGAをよろしくお願いたします。

編集責任者：青年委員 古賀恭輔